

## 医療福祉施設WG

- 主査：土屋伸一（明野設備研究所）  
幹事：桑名秀明（鹿島建設技術研究所）  
 筧 淳夫（工学院大学）  
 郡 明宏（鹿島建設）  
 志田弘二（名古屋市立大学）  
 関澤 愛（東京理科大学）  
 萩原一郎（建築研究所）  
 村井裕樹（広島工業大学）

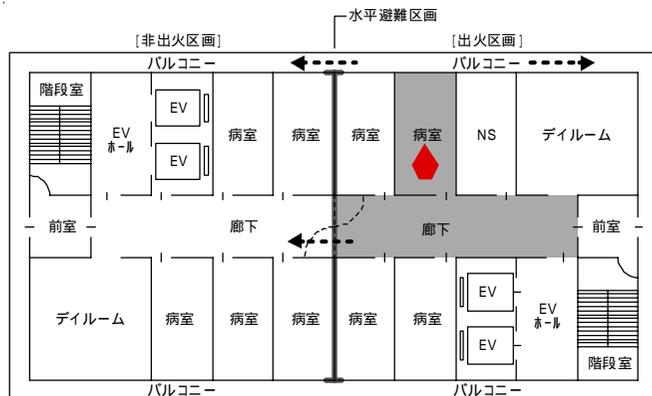
## 目 標

### 医療福祉施設における火災時の 人命安全計画指針の作成

- 人命安全のためのバリアフリー  
施設・設備計画
- 介助避難計算法の構築
- 実効的な避難誘導体制の整備

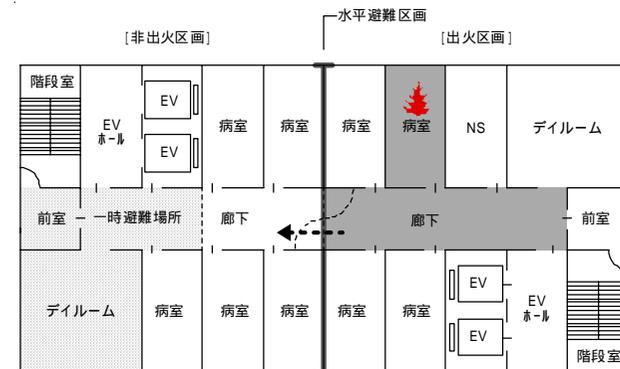
## 従来の防災計画のスタンダード

- 連続バルコニー
  - 水平避難区画
- ➡ 定量的ではない



## バリアフリー施設・設備計画

- 一時避難場所
  - 水平避難区画
- ➡ 避難時間と煙降下時間  
等から性能的に決める



## 介助避難計算法

### 【病棟等の特性】

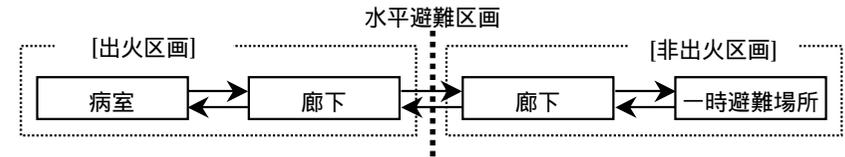
- 廊下の広さに比べて人数が少ない。
- 夜間は自力歩行可能な人から順番に避難誘導される。



出口で**滞留が生じる**可能性は**低い**

## 介助避難計算法

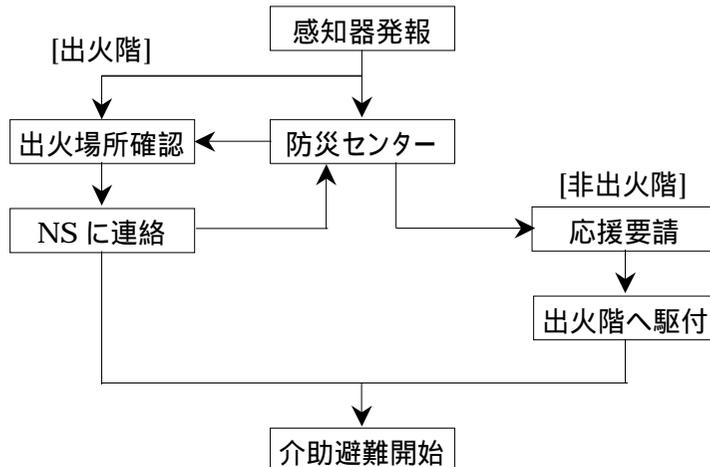
避難行動時間 = **準備時間** + **移動時間**



### 【課題】

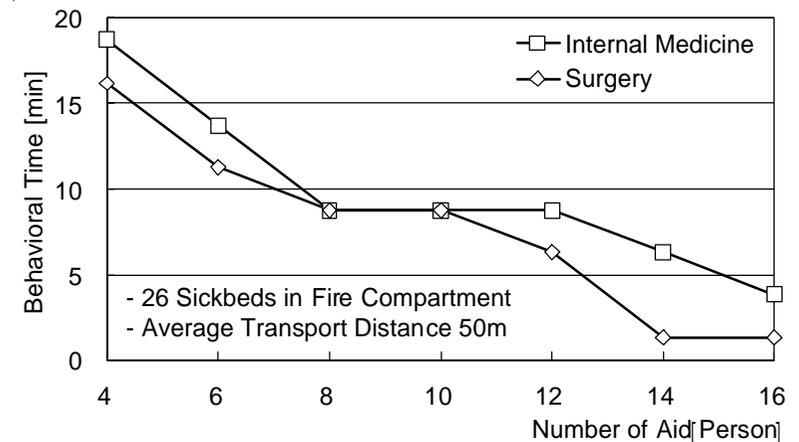
- 準備にどの程度の時間を要するか。
- 水平避難区画の戸の開き方向によっては、通過時間が無視できなくなる。

## 実効的な避難誘導体制の整備



病院の標準的な避難誘導フロー

## 実効的な避難誘導体制の整備



介助者数と介助避難行動時間との関係概念図

## 実効的な避難誘導體制の整備

### 【課題】

- **いち早く**出火階に駆けつけられる方策
- **より多く**の応援者が駆けつけられる病棟配置と方策